

[今月の詩編]

## 第26篇

わたしは完全な道を歩きます。

わたしを憐れみ、贖ってください。



## ただ信じなさい

ヤイロという人がいました。ヤイロとは、神が見てくださる、神が目覚めさせてくださるという意味です。でも、神さまが見てくださるというのは、どういうことでしょうか。何も問題が起こらず、静かに平安に暮らせるということでしょうか。残念ながら、現実とは違います。

ヤイロは今、自分の幼い娘が病気で死にかけていました。でも主イエスが来られると聞き、主のもとに駆けつけ、娘を助けに来てくださいとお願いすると、主はヤイロと一緒に出掛けてくださいました。ヤイロはこれで大丈夫と思ったかもしれませんが、でも、ヤイロの願ったとおりにはいきませんでした。娘のところに向かっていく間に、主は別の人の病気を治され、そうしている間に、知らせが届いたのです。娘が亡くなったと。

間に合わなかったのです。ヤイロはどんな気持ちだったか。でも聖書は言います。その時、主がそばで聞いておられたと。どんなに厳しい知らせも、自分一人で聞かなくていいのです。主と一緒に聞いていてくださいます。

でも、この「そばで聞く」という言葉は、聞き流すとも訳すことができるのです。愛する人が死んでしまったという大事な知らせを、主はまるで聞いておられないかのように聞き流されます。主は、わたしたちと一緒に悲しみに留まるために来られたのではなく、命を与えるために来られた方だからです。そして言われます。「恐れることはない。ただ信じなさい」。

ヤイロはもう何もできませんでした。死は罪の結果だからです。神さまが打たれたということの前に、わたしたちは何もできません。だから、自分には何もできませんと言って神さまにすべてお任せすること。そしてただ神さまがなさることを待つこと。それが信じるということなのです。

そして主は、三人の弟子と娘の両親を連れて、死んだ娘のところに行かれると、娘を甦らされました。ヤイロのように思いがけないことが起きる時、わたしたちは思います。神さまは自分のことなど見ていてくださらない。心にかけてなんかおられないと。でもそんなことは決してありません。ヤイロの娘が死んだのは、主がヤイロのことを心にかけておられたからです。主が共にいてくださるのに、それがどんなに大きな確かなことか分からず、望みを失っているヤイロが望みをもって生きることができるように、ヤイロを目覚めさせるためです。

主に甦らせていただいたヤイロの娘もやがて死んだと思います。でも、ヤイロもその娘もまた、望みをもって生き、望みをもって死んだのではないのでしょうか。死が終わりでないこと、主が起きなさいと言って甦らせてくださることを知ったからです。望みをもって生き、望みをもって死ぬ。これが信じる人に与えられる恵みです。

(マルコ5・21～43)

## 子ども礼拝 (9時20分より・地下ホール)

説教 「決して濁かない水」  
聖書 ヨハネ4章1～15節  
説教者 菊池 美穂子 副牧師

## 夏季礼拝 (10時より)

司式 山下 純・兄  
聖餐司式 黄 允湜 牧師

- 前奏 「アダージョ」 F.シューベルト
- 讃美 9番
- 十戒
- 告白の祈り
- 奉献頌
- 使徒信条
- 牧会の祈り
- 主の祈り
- 聖書朗読 マルコ4章35～41節 (新約 P.68)

○説教 「黙れ。静まれ」

宮間 彰広 兄

- 讃美 312番
- 聖餐 「アレグレット」 A.7バネス
- 報告
- 頌栄
- 派遣の言葉
- 祝福
- 後奏 「ジーク」 G.P.テレマン

## 《 今日のお知らせ 》

- 8月27日までの夏季期間は10時からの一回礼拝です。
- 今週のバイブルスクールは、明日14日(月)「コリント信徒への手紙」を逆読する予定です。
- 今日の礼拝後、ぶどうの会を第2、3シオンルームで開催します。

## 《 記録委員会より 》

8月中の毎週礼拝後から12時30分頃まで、記録委員会のデジタル化作業を見学できます。3階旧副牧師室でお待ちしていますので、この機会にぜひお越しください。

## 《 教会事務所より 》

明日、8月14日から19日までの間、教会事務所は夏季休業いたします。期間中、教会内に入ることができませんので宜しく申し上げます。(14日の夏季バイブルスクールの時間帯は開錠します)

## 《 次週の礼拝 》

### 子ども礼拝 (午前9時20分・地下ホール)

説教 「神の言葉を信じて」  
聖書 創世記12章1～9節  
説教者 宮間 彰広 兄

### 夏季礼拝 (午前10時)

讃美歌 9番 312番  
説教 「困難に向かうときに」  
聖書 1ペトロ1章3～9節  
説教者 吉村 和雄 名誉牧師